



添中だより

学校だより No.5
令和7年9月30日(火)
添田町立添田中学校
文責 長畑 理恵

秋は、行事がたくさん!実り(成長)の秋にしましょう!

9月も終わりになり、やっと秋らしさを感じられるようになってきました。例年、どんなに暑い夏でも「お彼岸には彼岸花が咲く」というイメージを持っていましたが、今年はさすがに彼岸花もお彼岸を過ぎて、この頃きれいに咲いているのを見るようになりました。アスパラガスのような茎だけがぐんぐん伸びて、突然のように花が咲いたように見えるので、いつも驚かされます。そのうえ、花が終わった後に葉が出てくるため、花と葉と一緒にイメージできない不思議な植物です。

植物は様々な色や形の花をつけて人々を楽しませてくれますが、その種類は約30万種あると言われています。まさに多様性の世界です。人間も60000種ある哺乳類の一種であり、その我々も一人一人違います。多様性の時代と言われるように、現代社会は、一人一人の違いを大切に活かしていくことを目指しています。

この多様性と今の学校教育・学校生活の関係性については、次号でお話したいと思っています。

さて、学校では、10月10日に行われる合唱コンクールに向けて学級・学年・ブロックでの取り組みが始まりました。週末の中間発表会には、6年生を招待し、中学生の迫力ある合唱を披露する予定です。

その他にも、様々な行事や学習の取組が計画されています。ぜひ、積極的に取り組み、有意義な時間を過ごし、一人一人が成長してくれることを期待しています。



【ブロック結団式テーマ発表】

【各ブロック
での練習】
→
↓



毎日合唱リーダーやブロック長を中心に時間の使い方を工夫し頑張っています。

失敗は成功のもと

ちびまる子ちゃんの歌で、「エジソンはえらい人～」という歌詞があるので、エジソンという名前は聞いたことがある、知っていると言う人も多いと思います。1300以上の発明をして、発明王と言われている人です。その中でも三大発明と言われているのが「蓄音機」「動画撮影機」「電球」です。ただ、最初に電球を発明した人はエジソンではありません。ジョセフ・スワンという人がエジソンより1年前に電球の発明に成功していたそうです。

どうして最初に電球を発明したスワンよりエジソンの方が有名なのでしょう？実は、スワンの発明した電球は、40時間という短い時間しか点灯しませんでした。それに比べてエジソンは、25倍以上の1000時間以上も点灯し続けるものを発明したそうです。エジソンが長い時間点灯する電球を発明したからこそ、世の中に電球が広まったのでしょ。つまり、多くの人が電球を使うことができるようになったのは、エジソンのおかげだと言うことで、エジソンの方が有名になったのだと考えられています。

では、エジソンは電球を長時間点灯させるために、何回実験をしたと思いますか？1回？ 10回？ 100回？ 1000回？ 1万回？

正解は、1万回です。2万回という説もあります。

1万回の実験ってすごいですよね。当時の人もみんなそう思ったことでしょう。そこで、インタビューで「1万回失敗しても実験を続けたことは・・・」と聞くと、エジソンは、「I have not failed. (私は失敗なんかしていない)」と答えたそうです。そして、こう続けたそうです。「この方法では、電球は光らない。という発見を1万回してきたのだ。それは失敗ではなく、その方法では上手くいかないことが分かったのだから、成功だ。」と。

また、次のようにも言っています。「私たちの最大の弱点は諦めることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることに。」

だから、エジソンは電灯がつかなくても「もう一回やってみよう!」と実験を続けたのです。もう無理だと思ったところから、さらにもう1回がんばることが大切だと言うことです。

今年度も後半に入ります。添田中学校の1年生、2年生、3年生としてそれぞれが、良いまとめをし、今の学年を締めくくってほしいと思います。今年度中に新しいことに挑戦しようと思っている人もいるかもしれませんが、頑張ってみても、もしかしたら上手くいかないことがあるかもしれません。そんな時にはぜひ、エジソンの言葉を思い出して、もう一踏ん張りしてみてください。



《今後の主な予定》

- 2日(木) 合唱コンクール中間発表会(添中体育館)
- 10日(金) 合唱コンクール(オークホール)
- 15日(水) 和楽器体験教室【2年生音楽】
- 29日(水) 進路説明会【3年生】
- 31日(金) 修学旅行説明会【1年生】